

総会挨拶

荊冠堂チャペルにお越し頂きました桜美林学園同窓生のみなさま、学園関係者のみなさま、本日はお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

2021年に桜美林学園は、その前身の北京崇貞学園から数えて100周年を迎え、今年卒業生も12万4千人を超えました。

昨年の桜美林学園は、大学補助金カットをはじめ、新聞、週刊誌不名誉な記事が掲載される等の問題もございました。

しかしながら4月からは大槻新理事長のもと、新たな理事会体制で、コンプライアンスとガバナンスを強化し、様々な改革に取り組んでいただいております。今後の学園運営に期待すると共に、卒業生としても学園の更なる発展に寄与できるような活動を継続、拡大させることが必要だと思っております。

本日のリ・ユニオン講演会では、「清水安三と中国」の著者でもある大学名誉教授の太田先生、中国研究家で大学教授の中生先生にご講演をいただきます。学園変革のタイミングで、学園設立に至るまでの創立者清水安三先生、郁子先生の思いを知ることが、とても重要だと思い企画させていただきました。

卒業生組織の再編についても、後ほど詳細をご説明させていただきますが、変革する学園と共に、新たな卒業生組織についても、本日お越しの皆様のご理解、ご協力いただくことをお願いして総会のご挨拶とさせていただきます。

2024年6月15日

会長 山本美浩